

2026 年度 DRP 検討委員会

第 1 回会合議事録

日時： 2026 年 5 月 22 日（金） 11:31～12:40

場所： オンライン開催

1. 議題：

1. 2026 年度活動方針について
2. 2026 年度 JP-DRP パネリスト候補者研修会の実施方針について
3. JP-DRP 手続規則改正後の実務運用について
4. JP-DRP 裁定検索システムのタグ付けにかかる今後の進め方について
5. その他

2. 資料一覧：

資料 1 2026 年度 DRP 検討委員会活動方針検討課題リスト

参考資料 2 2026 年度パネリスト候補者研修開催に向けて

参考資料 3 規則改正後の実務運用状況ヒアリング結果

3. 出席者(50 音順)(敬称略)

	氏名	所属
DRP 検討委員会 委員長	井上 葵	アンダーソン・毛利・友常 法律事務所 外国法 共同事業 弁護士
DRP 検討委員会 委員	ト部 晃史	弁護士法人 瓜生・糸賀法律事務所 弁護士
DRP 検討委員会 委員	早川 吉尚	立教大学 教授/弁護士
DRP 検討委員会 委員	山口 裕司	大野総合法律事務所 弁護士 日本知的財産仲裁センター 運営委員
担当理事	曾根 秀昭	JPNIC 副理事長 DRP 担当
担当理事	中村 素典	JPNIC 理事 DRP 担当

JPNIC 事務局：稲垣 紫、是枝 祐、根津 智子

4. 傍聴

株式会社日本レジストリサービス (JPRS) 1 名

5. 議事

11 時 31 分に井上委員長により開会された。

議題 1. 2026 年度活動方針について

- 本年度の検討課題として、規則改正後の運用状況の確認、JP-DRP 裁定検索システムの活用・タグ付け、JP-DRP 解説改訂版および裁定例検討報告書等の活用・周知、パネリスト候補者研修会、国際動向の把握および人材育成等を扱うことが確認された。
- ADNDRC に関する最近の状況について情報共有があり、UDRP を含む国際動向については引き続き情報収集を行うことが確認された。
- 以上を踏まえ、資料 1 を本年度の活動方針として進めることを確認した。

議題 2. 2026 年度 JP-DRP パネリスト候補者研修会の実施方針について

- 本年度のパネリスト候補者研修会について、概ね年度内に 2 回程度の開催を目指すことが確認された。
- 研修会の内容については、近時の裁定例や関連する国際的動向を踏まえたものとする方向で検討した。第 1 回研修会については、裁定例の紹介および関連情報の提供を中心とする案が示され、講師候補者への打診を進めることとなった。
- 上記第 1 回の開催時期は 9 月頃を目安とし、日程、時間配分および開催方式について、講師の都合や会場の状況を踏まえて引き続き調整することとした。また、代理人実務や企業におけるドメイン名紛争対応の実務等についても、今後の研修会テーマとして継続して検討することとなった。
- パネリスト候補者以外の関心層への情報提供については、外部団体における講演など、研修会とは別の機会も活用して周知を行っている旨が共有された。

議題 3. JP-DRP 手続規則改正後の実務運用について

- JPNIC 事務局より、現時点で係属中の案件については、いずれも改正前に申立てが行われた案件であり、紛争処理機関からは改正後の手続に関する問題点についての言及はなく、改正後の手続については今後の案件の蓄積を待って確認する必要があることが共有された。
- 今後、改正後の手続のもとで運用上の課題や意見が生じた場合には、JPNIC 事務局に情報を集約し、本委員会に報告することとなった。

議題 4. JP-DRP 裁定検索システムのタグ付けにかかる今後の進め方について

- JP-DRP 裁定検索システムへの裁定例の分類登録後、一定期間が経過していることを踏まえ、その後に蓄積された直近の裁定例について、追加の分類作業を行う必要がある旨が確認された。
- 追加対象となる裁定例の分類案が提出され次第、委員会において内容を確認し、了承する方向で進めることとなった。

以上をもって、井上委員長により会議は 12 時 40 分に閉会された。

以上